

一般社団法人日本体力医学会定例理事会（2023年8月）議事録

日 時：2023年8月25日（金）午後5時30分～7時15分

場 所：TKP東京駅カンファレンスセンター
カンファレンスルーム2A

議 長：鈴木政登理事長

出席者：鈴木政登理事長， 碓井外幸副理事長，
武政 徹常務理事， 赤間高雄， 太田 眞，
大野 誠， 栗原 敏， 後藤勝正， 下光輝一，
須永美歌子， 竹森 重， 田中喜代次，
中里浩一， 永富良一， 成田和穂， 前田清司，
宮内 卓各理事， 清田 寛， 定本朋子各監事，
山津幸司第78回大会事務局

欠席者：井福裕俊， 小山勝弘， 新開省二， 須田和裕，
浜岡隆文， 宮川俊平， 和気秀文各理事，
井上 茂， 小林康孝各監事

【審議事項】

1. 前回議事録の承認（鈴木理事長）

理事会終了時まで訂正等がなかった場合には，自動的に承認されることにした。

2. 令和5年度庶務報告に関する件について

（武政総務委員長）

資料に基づき，令和5年度庶務報告がなされた。

2023年7月31日現在，会員総数は3,420名（昨年度から268名減少），評議員は510名（内医師66名，非医師444名），賛助会員5団体，新入会員47名（昨年度から194名減少），退会者315名（内自然退会133名）であることが報告された。また，2年以上会費未納者リストが提示され，2年以上の会費未納者については，自然退会とすることが承認された。自然退会者リストに載っている会員で，声掛けできる会員には，会費納入の催促をして欲しい旨，依頼された。

3. 令和5年度会計報告に関する件について

（鈴木理事長）

資料に基づき，令和5年度決算について，報告された。

収入の部：会費収入は31,576,840円（内正会員29,560,000円）であり，収入合計は60,780,511円となった。

支出の部：新型コロナウイルス感染拡大の影響により理事会の対面開催が1回のみであったこと，選挙をウェブ方式に変更したことによる運営費の支出減少などにより，支出合計額は57,749,231円となった。その結果，当年度収支差額は3,031,280円の黒字決算の見込みとなった。

4. 令和5年度事業報告に関する件について

（鈴木理事長）

資料に基づき，令和5年度事業の概要が報告された。また，各種委員会による「報告事項」と合わせて報告してもらうことにした。

1) 総務委員会（武政総務委員長）

(1) 学会大会長に関する事項

第79回大会（2025年，滋賀県開催）の大会長候補者として，田畑泉氏（立命館大学・スポーツ健康科学部・特命教授）を2023年2月17日の理事会において推薦した。第80回大会（2026年，青森県開催）の大会長の推薦については東北地方会とコンタクトし，調整を行っている。

(2) その他の事項

中富健康科学振興財団「健康科学の発展に功績のあった研究者顕彰」の候補者を，本学会申し合わせを参考に選考した。

2) 編集委員会（後藤編集委員長）

(1) 学会誌出版（学会誌刊行に係わる事業及び電子ジャーナル公開）

「The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine (JPFSM)」

Vol. 11のNo. 4, No. 5, No. 6; Vol. 12のNo. 1, No. 2, No. 3

「体力科学」

Vol. 71のNo. 4, No. 5, No. 6; Vol. 72のNo. 1, No. 2, No. 3

①電子ジャーナルの公開は，J-STAGE『印刷前公開』での実施及びDOAJへのメタデータアップロード

②JPFSM掲載論文リストのメール配信

(2) 研究倫理に関するガイドライン改定に伴い，「体力科学」投稿規定改訂（9/13）

(3) JPFSM「J-STAGE Data」利用開始について利用規定を学会ホームページに掲載（9/22）

(4) 「自己剽窃（自己盗用）」ならびに「サラミ出版」の禁止について学会ホームページに掲載（4/5）

(5) 国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）2023年度ジャーナルコンサルティング

・「ジャーナルインパクトファクター（JIF）取得要件への準拠」（2023年6月～2024年3月）

・ジャーナルコンサルティング顔合わせミーティング実施（6/29）

3) 学術委員会

(1) スポーツ医学研修会委員会

（中里スポーツ医学研修会委員長）

新型コロナウイルス感染拡大を受けて本研修会は本年（令和5年）度も中止の旨，学術委員会，スポーツ医学研修会委員会にて決定した。中止の決定は本学会ホームページ（6/2）および一斉メール配信にて告知した。

(2) 称号委員会（碓井称号委員長）

資料に基づき，「日本体力医学会健康科学アドバイザー®」2023年度：授与・贈呈者数12名に贈呈した。

(3) 学会賞選考委員会（前田学会賞選考委員長）

第36回日本体力医学会学会賞候補の選考を行った。

(4) ガイドライン検討委員会

（宮内ガイドライン検討委員長）

「生活習慣病の蔓延」と「高齢化の進行」が本邦で大きな社会問題となっているため，「健康寿命

の延伸」を目指した活動を視野に入れたガイドラインの作成などを進めている。さらに、競技スポーツにおける安全対策、特に熱中症対策やアンチドーピング等についてのガイドライン作成も進めている。

- 4) 財務委員会（鈴木理事長）
令和6年度予算案の作成と令和5年度の予算の適切な執行の確認。
- 5) 利益相反委員会
情報収集に努めた。
- 6) 評議員選考委員会（大野評議員選考委員長）
 - (1) 令和4年度評議員候補者28名を選定し、理事会、評議員会兼社員総会にて承認を受けた。
(男性：24名、女性：4名)
 - (2) 評議員候補者申請書の中に候補者が査読できる専門分野を記載する欄を作って欲しいとの編集委員会からの依頼を受け、申請書の書式を一部改訂した（2022年11月）
 - (3) 令和5年度評議員候補者として5件の申請がありWeb会議にて慎重に審査したところ全員「適格」と判定した。（男性：5名、女性：0名）
- 7) 渉外委員会（永富渉外委員長）
 - (1) 学会HPでの渉外委員会所掌の学術交流支援活動の紹介
 - (ア) 主要関連国際学術団体の紹介
渉外委員会として推奨する国際学術集会を紹介
ACSM, ECSS, ISPAH, IBEC, IUPS, FAOPS, IPE, IBE, ISBNPA, BASEM, ASN, FIMS, ACCESS, ASK その他。
 - (2) 国際交流事業
 - (ア) 国際学術交流奨励賞（再開）
 - ①2022年4月～2023年3月31日までの国内外で開催された国際学会（5カ国以上が参加する学会）での発表を評価
 - ②筆頭演者としてオリジナルな演題を発表している若手を中心とする学会会員
 - ③最優秀賞1名、優秀賞3名（口頭30万円、20万円、ポスター15万円、10万円）
 - ④受賞者
 - 1) 口頭最優秀賞 田淵絢香 電気通信大学
ACSM 2022 San Diego USA: Pharmacological Inhibition of Ryanodine Receptors Immediately After Eccentric Contractions Exercise Effectively Reduces Exercise-induced Muscle Damage In Rat Skeletal Muscle
 - 2) 口頭優秀賞 土橋康平・北海道教育大学
19th International Conference on Environmental Ergonomics Niagara Falls Canada: Hypocapnic hyperventilation and hypoxia additively increase anaerobic metabolism during supramaximal exercise
 - 3) ポスター最優秀賞
塩谷彦人・早稲田大学スポーツ科学学術院
40th Conference of the International Society of Biomechanics in Sports Liverpool

UK: Associations between exercise-induced flattening of foot arch and fatigue of extrinsic and intrinsic foot muscles

- 4) ポスター優秀賞
竹田怜央・電気通信大学
18th International Biochemistry of Exercise Conference, Toronto, Canada: Loss of CMAH improved cellular senescence in adipose tissues and insulin sensitivity in aged mice
 - 5) ポスター優秀賞
曾谷祐太・電気通信大学
18th International Biochemistry of Exercise Conference, Toronto, Canada: Mathematical modeling of skeletal muscle protein synthesis pathway activated by resistance exercise
 - 6) ポスター優秀賞 藤本知臣
新潟医療福祉大学健康スポーツ学科
19th International Conference on Environmental Ergonomics, Niagara Falls Canada: TRPM8 contributes to cutaneous vasoconstriction during local, but not whole-body cooling in humans
- (イ) ECSS
- ①2023年7月6日 ECSS-JSPFSM 交流シンポジウム シンポジスト派遣
Complex effects of acute exercise on cognition
中京大学 紙上敬太（座長・演者）
- (ウ) 韓国運動生理学会
- ①2023年4月7日～8日 Joint Symposium between JSPFSM and KSEP シンポジスト派遣
早稲田大学 秋本崇之（座長）、名古屋市立大学 奥津光晴（演者）、大阪公立大学 亀本佳世子（演者）
 - ②今後のKSEPとJSPFSMの交流に関する意見交換
本学会大会における交流シンポジウム開催検討
- (エ) AFSM アジアスポーツ医学連盟
- ①Executive Committee 2022.12.17
(Hong Kong)
AFSM会員としてのJSPFSMの位置づけ確認
AFSM会長と、JSPFSM参加における課題について共有
AFSMはスポーツ医学（主として整形外科）中心、JSPFSMはスポーツ科学（体力科学、疫学、生理学、生化学、神経科学、健康科学など）中心であること、それぞれの領域の接点を今後探る。
日本臨床スポーツ医学会との連携を探る。
- (3) 国内交流事業
- (ア) 日本医学会連合TEAM事業「フレイル・ロコモ対策会議」
- ①日本医学会総会市民向けセッション「フレイル・ロコモを予防する:80GOの実現へ向けて」
2023年4月23日 東京ステーションカン

ファレンス

順天堂大学 内藤久士(演者), 東北大学 永富良一(演者)

②書籍『フレイル・ロコモのグランドデザイン』の出版事業

③日本肥満学会・日本肥満症治療学会 合同企画シンポジウム

2023年11月26日 仙台国際センター
東北大学 門間陽樹(演者)

(イ) 日本生理学会

①2023年3月28日 第101回日本生理学会大会
日本生理学会・日本体力医学会合同シンポジウム

順天堂大学 和気秀文(オーガナイザー), 順天堂大学 吉原利典(座長), 佐賀大学 富賀裕貴(座長)

8) 倫理委員会(成田倫理委員長)

(1) 大会の演題応募における倫理的手続きの検討

9) 広報委員会(須永広報委員長)

(1) 学会ホームページの管理・運営

10) 男女共同参画推進委員会

(須永男女共同参画推進委員長)

(1) 男女共同参画学協会連絡会への参加

(2) ワークショップ開催に関する検討

11) 全国地方会実行委員会

(竹森全国地方会実行委員長)

コロナ禍でのブランクを乗り越えて地方会の活気が戻ってきている。

5. 令和6年度会計報告(予算)について(鈴木理事長)

資料に基づき、令和6年度の予算案について報告された。

収入の部：現在の会員数および会費納入率実績(90%)に基づいて試算し、正会員会費は29,960,000円、会費収入全体では32,150,000円として計上した。2023年は特別大会のため大会開催収入が減少していること、国際交流基金取崩収入が例年通りに戻ったことなどにより、収入額合計は45,609,500円として計上した。

支出の部：特別大会に伴い大会開催費が減少したこと、国内外交流費が例年通りに戻ったこと、スポーツ医学研修会が昨年同様中止となったことなどにより、支出合計予算額が48,560,000円となった。当年度収支差額は△2,950,500円となる見込みである。

6. 次期各種委員会への申し送り事項の提出について

(鈴木理事長)

資料に基づき、役員および各種委員会の任期は次回社員総会で任期満了となるので、業務引き継ぎに伴う資料を事務局へ提出して頂きたい旨報告された。

7. 次期理事長推薦理事候補者について

(永富次期理事長)

役員選挙で選ばれた理事以外の理事候補者につい

て、宮下政司氏(早稲田大学・スポーツ科学学術院・教授)を社員総会に推薦したいと提案があり、承認された。

8. 評議員推薦に関する件(大野評議員選考委員長)

資料に基づき、評議員選考委員会において候補者5名に対しての審査を行い、全員が評議員選考条件を満たした旨の報告があり、令和5年度の評議員候補者として5名(内、女性0名)を評議員に推薦することが承認された。

9. 日本体力医学会名誉健康科学アドバイザー称号贈呈候補者について(碓井称号委員長)

日本体力医学会名誉健康科学アドバイザーの称号贈呈者4名の氏名リストが提示され、承認された。

10. 中富健康科学振興賞被推薦者選考について(武政総務委員長)

資料に基づき、公益財団法人中富健康科学振興財団より中富健康科学振興賞の推薦依頼が届いた旨、報告があった。本賞の選考に関して、2013年9月の理事会に於いて制定された中富健康科学振興賞の「候補者推薦に関する申し合わせ事項」についても説明された。碓井外幸副理事長を推薦候補者とすることが提案され、承認された。

11. 名誉会員待遇内規について(碓井副理事長)

資料に基づき、名誉会員待遇内規案が提案された。鈴木理事長より、慣例として大会事務局から年次学術講演会への招待状が名誉会員へ送られて来ていたが、当該年度開催事務局から次年度事務局への申し送りがしばしば途切れることが、今回明らかになった旨、説明された。そこで、名誉会員に関する定款記載条項に加え、従来慣例として招待されて来た件を併せ、“名誉会員待遇内規案”として明文化され、提案された。以上の説明の後、武政総務委員長より反対の旨の意見があったが、他理事からの反対の意見が無かったため、審議の結果、承認された。名誉会員への大会参加確認は、学会事務局より毎年郵送で行うこととした。

12. その他

1) 会員数減少抑制対策委員会報告について

(鈴木理事長)

資料に基づき、会員数減少抑制対策委員会で行われた会員数減少の分析結果と、減少抑制のための提案について報告された。特に自然退会者数の抑制と、学会自体の魅力向上が必要であることが強調された。この件に関する今後の取り組みについては、次期理事会の任意とする旨、加えられた。

【報告事項】

1. 日本体力医学会健康科学アドバイザー継続申請者について(碓井称号委員長)

資料に基づき、日本体力医学会健康科学アドバイザー継続申請者について報告がなされた。日本体力医学会健康科学アドバイザー継続申請者12名の氏名リス

トが掲示され、承認された（内、終身称号者は5名）。

2. 各種委員会報告

1) 編集委員会（後藤編集委員長）

資料に基づき、「JPFMS」誌、「体力科学」誌の投稿・掲載状況が報告された。

1. 「JPFMS」誌、「体力科学」誌の投稿・掲載状況 ＜投稿状況＞(2022年9月1日～2023年7月31日)

「JPFMS」誌：新規投稿34編（内海外7編）

※前年同期間：新規投稿55編（内海外8編）

7/31現在、審査中5編（採択15編、不採択14編）

※受付不可12編（投稿規定に沿わない等で原稿返却。海外12編）

「体力科学」誌：新規投稿23編

※前年同期間：新規投稿47編

7/31現在、審査中4編（採択11編、不採択8編）

＜発行予定＞

「JPFMS」誌

○Vol. 12, No. 5（2023年9月25日発行）

Review 1編, Regular Article 1編, Short Communication 1編

○Vol. 12, No. 6（2023年11月25日発行）

特集号5編, 掲載予定

○Vol. 13, No. 1（2024年1月25日発行）

Regular Article 1編, Short Communication 2編

○Vol. 13, No. 2（2024年3月25日発行）

Regular Article 1編+（今後の受理論文）

「体力科学」誌

○Vol. 72, No. 5（2023年10月1日発行）

総説1編, 原著2編

2. 国立研究開発法人科学技術振興機構（JST） 2023年度ジャーナルコンサルティング

「ジャーナルインパクトファクター（JIF）取得要件への準拠」（2023年6月～2024年3月）のため、コンサルティング会社とミーティングを行い、報告書の提出を準備している。

3. 評議員対象アンケート調査結果

査読への協力に関するアンケート調査結果を行い、評議員511名のうち244名から回答を得た。査読者選定に際してデータ利用することを許可するとの回答を236名、許可しないとの回答を8名から得た。

3. 役員選挙結果報告（鈴木理事長）

資料に基づき、役員選挙結果について理事長に永富良一現理事、副理事長に内藤久士氏と小熊祐子氏、常務理事に中田由夫氏が当選されたことが報告された。

4. 日本体力医学会2023年東京シンポジウムの進捗状況（前田実行委員長）

前田実行委員長より、日本体力医学会2023年東京シンポジウムの進捗状況が報告された。

5. 第78回（佐賀）大会の進捗状況 （山津第78回大会事務局）

大会事務局の山津幸司氏より、大会の準備状況について報告された。